

THE SHIGA PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



社団法人
滋賀県理学療法士会
ニュース

No.163 (2010-6)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2010.12.1発行

発行者：(社)滋賀県理学療法士会 本白水 博
〒520-8575 大津市御陵町3-1
大津市健康保険部 健康長寿課
電話 077-528-2741 FAX 077-526-8382

編集者：藤堂 光洋(東近江市立能登川病院)
西村 謙太郎(公立甲賀病院)

印刷所：(有)東 呉 竹 堂 (ひがし印刷)

「豊かさ」への挑戦！

滋賀県言語聴覚士会 会長 川 見 員 令

ホープ、ニーズ、リアルニーズ、生活の質、QOL etc. と「豊かさ」について考えなくてはならないことばが、私たちの日常業務に溢れています。これらはリハビリテーション、社会復帰、復権、人権擁護においても密接に関係している言葉であります。

「豊かさ」は価値観により大きく2つの側面を持っています。一つは「物質的」側面、もう一つは「精神的」側面です。前者は、戦後の科学技術の進展や高度経済成長により、モノが溢れる時代へ、また使い捨て文化の時代へと変化をもたらした“時間や欲しいモノはお金で買うもの”などということばが出てくるほど過剰なまでの「物質的豊かさ」をもたらしました。この豊かさは人間のみが限りなく追求する欲求でもあり、また環境や状況によってはほんのわずかなことでも幸せを感じることができるものという一面も持っています。小さなステップを上がり進歩することや、ちょっとした褒めことば<報酬>を貰うだけでも、人は大きな幸せを感じ次ぎの欲求につながります。後者は家族の健康や幸せを自らの幸福に感じることや、音楽鑑賞、食べ歩き、登山、森林浴、ギャンブル娯楽などの文化的営みがもたらす心の安らぎや幸福感にあたります。これらが満たされ「豊か」という快刺激が生まれ、また新たな快刺激を求める行為へと移る。このようにして人の欲求は無尽蔵に湧き出てくるものです。「豊かさ」にはこれといった定義はなく一人ひとりの価値観の中に存在するものです。「価値」とは、社会学のなかで生まれてきた言葉であり人間社会にしか存在しない“概念”です。価値観の形は十人十色であり多種多様です。また他者から強制されるものでは決してありません。「豊かさ」という価値は強制されるものではなく、与えられて終わりでもなく、個々人が感じることに よってはじめて生み出されるものという認識と理解が大切です。

ここ滋賀県においても少子高齢化が進み、市町村合併前の地域区分でみると高齢化率が30%を超えている街がいくつも見られています。社会構造、地域構造、家族構造の変化が予想以上に急激に起こり、

社会情勢に社会保障自体が追いついていないのが現状です。ノーマライゼーション、バリアフリー、生活や活動の質的向上を盛んに唱いながらも、医療福祉施策は単に制度整備やシステム構築を進めることにより、医療・介護・福祉の商品化を進めたに過ぎません。残念ながらリハビリテーションや介護支援においても、この商品化の波が知らず知らずの間に浸食してきているように思います。まるで洋服を合わせるかのようにレディメイドの医療・介護・福祉商品を選択し、パターン化した枠組みはめ込み、サービスの提供を行っているに留まってははいないか。このことは、リハビリテーションの在り方においても見直すべき課題ではないでしょうか。

リハビリテーションはもっと広い視野で柔軟な思考をもち、臨機応変な対応が可能なものでなければならぬのは言うまでもありません。このような時代であるからこそ、リハビリテーションの原点や職能倫理を振り返り、見つめ直す時ではないでしょうか。「便利・快適・安全・清潔」は「合理的・能率的・効率的」ではあります。だからといってステレオタイプなりリハビリテーションや専門的な「合理的・能率的・効率的」を医療や福祉論を盾に押しつけているだけでは、ほんとうの「豊かさ」にはほど遠いものとなり、私たちの仕事の本末転倒となりかねません。PT・OT・STと職種が違うからこそ三者三様の機転の効いた視点で目標が立ち、それらがコーディネートされることにより、患者や利用者の「豊かさ」の追求において、より良い支援ができるのではないのでしょうか。三者を含め他職種がうまく絡み合い目標を共有することや、単に商品化された医療や福祉サービスの提供に留まらずに、創造性や独自性を重んじるスピリッツが大切だと思います。ほんとうの「豊かさ」に挑戦し、生きる意欲に繋げることは、私たちセラピストの理想や欲求でもあり、また終わりのない課題です。

末筆となりましたが、貴会ならびに会員皆様のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

滋賀県理学療法士会

初代会長 砂川 勇 先生



黄綬褒章 受章

平成22年11月2日に政府より発表された秋の褒章の受章者に、滋賀県理学療法士会初代会長の砂川勇先生が決定されました。今年の秋に受章されたのは703人と32団体で、そのうち砂川勇先生が受章された黄綬褒章は、「業務に精励し衆民の模範である方」が受章される褒章で、滋賀県理学療法士会からはもちろん、全国の都道府県士会より推薦された理学療法士では初の受賞となり、11月12日に厚生労働大臣より授与され、その後皇居にて天皇陛下に拝謁されました。本当に砂川勇先生が初代会長として滋賀県理学療法士会の礎を築かれたことに感謝するとともに、黄綬褒章の栄誉に輝かれたことを心よりお喜び申し上げます。さて、ここで砂川先生の功績を簡単に紹介させていただきます。

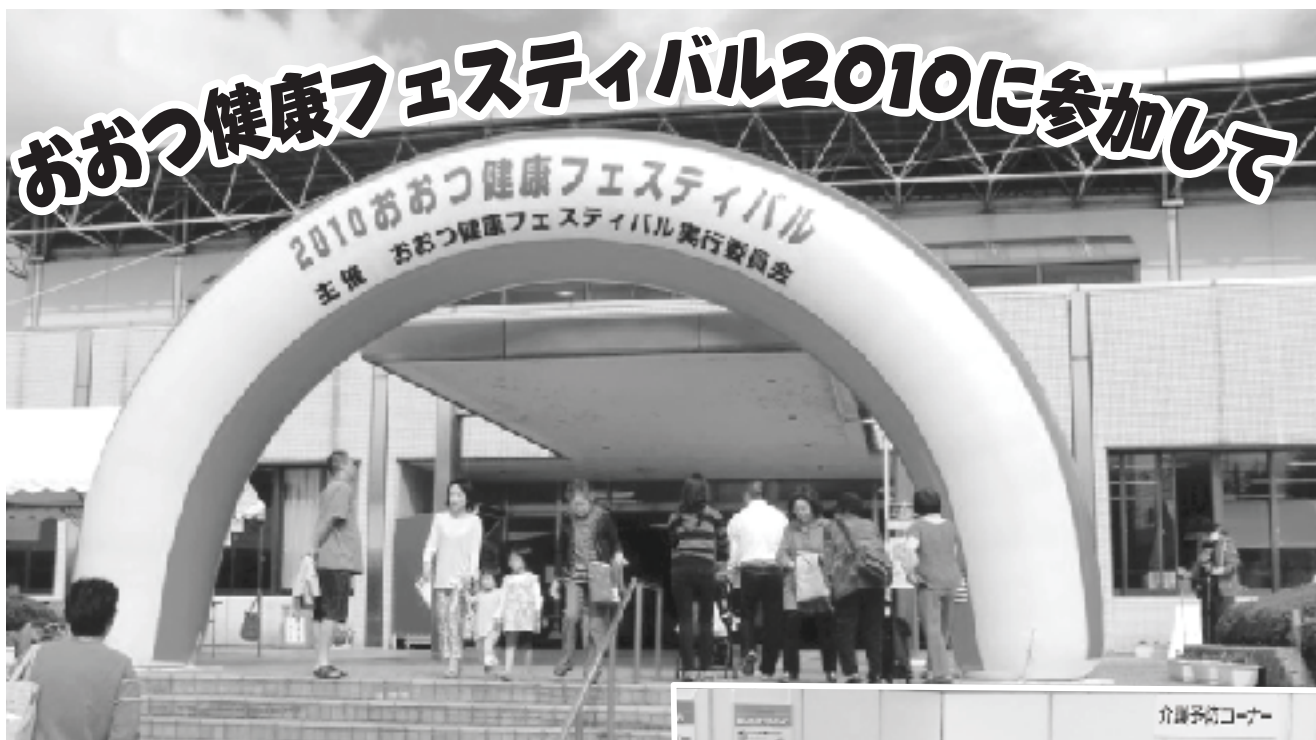
昭和43年に理学療法士免許取得後、京都大学医学部附属病院、大津市民病院にご勤務され、その後平成7年滋賀医療技術専門学校、平成16年からは藍野大学にて教鞭をとられ、現在も大学教授と専門学校学校長を兼務されておられます。臨床では、小児分野での理学療法を主に実践され、障害児療育活動として1975年より全国に先駆け開始

された障害児の早期発見、早期療育システムである大津方式の実践において、ボイタ法の診断方法を取り入れ、ボイタ法の訓練を実践し医療・訓練・療育を結びつけ、障害乳幼児の生活と発達の保障を目指した取り組みを行われました。

また、昭和50年に滋賀県理学療法士会を設立し、初代会長としてその後20年に渡り士会をけん引し、また社団法人日本理学療法士会の代議員として滋賀県の代表を24年間務められました。さらに、昭和63年からドイツより講師を招き、徒手療法の国際セミナーを導入しその普及に努められました。日本徒手療法連盟を設立し、会長として世界理学療法連盟の下部組織である国際徒手療法連盟に、世界で22番目に日本が加盟したことに尽力され、日本の徒手療法のレベルを国際的に示されました。

以上本当に簡単ではありますが、砂川先生の功績について書かせていただきました。今回の受章は、滋賀県理学療法士会としてはもちろん、国が理学療法士の功績を認めてくださったという本当にうれしいニュースです。来年2月12日（土）には、近江八幡にて受章記念式典と祝賀会を開催する予定ですので、ぜひとも皆様のご出席を心よりお待ちしております。

表彰委員会委員長 宇於崎 孝



琵琶湖中央病院

リハビリ療法部 鳥居 多恵子

去る10月17日、今年で20回目となるおおつ健康フェスティバル2010が皇子が丘公園体育館と同公園一帯で開催されました。市民一人ひとりが健康管理について考えてもらおうと開かれるもので会場では、医師や歯科医師、薬剤師、栄養士による健康相談や体力測定、血液・骨密度のチェックなどが行われていました。この日は秋晴れの日曜日で会場の来場者も多く大変賑わっていました。

滋賀県理学療法士協会は昨年に続き、本年度も大津市役所健康長寿課とタイアップし介護予防啓発活動として体力測定と介護予防体操を行いました。体力測定では高齢者はもちろん、広い年齢層の方が参加されていました。体力測定の結果と平均参考値とを比較して喜ばれている方や、結果に納得できない



ともう一度測定される方などさまざまでした。

また、理学療法士による相談コーナーが設けられ、体力測定の結果を参考に必要な方には簡単な体操紹介などもさせていただきました。また、健康長寿課の方によるおおつ光くん体操も午前・午後の2回開催されました。いすに座ったままできる体操ということでたくさんの方が楽しんで参加されていました。理学療法士協会のコーナーにもたくさん方の参加があり、熱心に耳を傾けてくださる方が多く、介護予防に関する市民の意識の高さが伺えました。

後日談ですが、健康フェスティバル参加されていた外来の患者さんからおおつ光くん体操を毎日行っているという話を聞き、介護予防への関心が高くそれぞれに予防に努められているということがわかりました。日々の業務では入院患者さんの治療がほとんどですが、今回健康フェスティバルに参加させていただいて、予防についての知識向上と啓発活動への参加が必要であるということを感じました。



厚生部 事業報告

公募事業“滋賀県理学療法士会ゴルフコンペ”が開催されました！

去る9月26日(日)に竜王ゴルフコースにて、11名のご参加を頂きました。ご参加いただいた先生方、本当にお疲れ様でした。当日は、今年の猛暑が懐かしく思える晴天に恵まれ、青空の下、それぞれ思い通りのプレーができたかどうかはわかりませんが、日常とは離れて青空と緑豊かな自然の中、県士会員が交流できたことは、非常に有意義な時間が過ごせたのではと思います。今年度は、接戦の中、豊郷病院の奥村陽一先生が素晴らしいスコアで優勝されました。今後も、このような企画をしていきたいと考えております。その際は、是非、より多くのご参加を頂き大いに盛り上がりましょう。

豊郷病院 磯寄 浩司



ご参加いただきました先生方、お疲れ様でした。また企画・運営してくださいました幹事の先生、ご協力ありがとうございました。

厚生部では今後も公募事業を継続させる予定です。企画をお持ちの先生方や既に仲間内で行っているスポーツなど拡大して開催したい思いをお持ちの先生方がおられましたら、遠慮なく厚生部にご連絡・ご相談ください。

★厚生部受付アドレス：

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp



厚生部一同

会長行動録

9月3日(金) 吸引研修会打ち合わせ

9月4日(土) 滋賀県医師の会出席

9月9日(木) 理事会

9月21日(火) おおつ健康フェスティバル実行委員会

9月30日(木) 全国士会長会議

10月1日(金) 県リハビリテーション協議会

10月3日(日) 近畿学術大会準備委員会

10月3日(日) 診療・介護報酬検討委員会

10月12日(火) 吸引研修会打ち合わせ

10月14日(木) 日本看護学会開会式出席

10月14日(木) 理事会

10月17日(日) おおつ健康フェスティバル出席

ITスタートアップ講座

最終回

滋賀医科大学医学部附属病院 平 岩 康 之

今年度から、事務局体制を大津市民病院、大津赤十字病院、滋賀医大と分業体制となり大きな組織改革がなされたと思っています。それにともなう、会員管理、財務処理の部分を見直し、ソフトウェアの変更、外部委託から内部処理へと業務内容を見直しました。特にパソコンで行う作業についてはこれまで以上に便利なものとなりましたので少し会員の方にも、こちらのシステムはどんなものなのか知っていただきたいと思い今回の記事にしました。

まずパソコンですが、データを保管するパソコンは私が自作したものでずいぶん前に作ったものです。今回、会員管理、財務処理をするにあたり士会に寄付させていただきファイルサーバーとして活用しています。ただし、長時間の運用に耐えられるように、電源回路の変更や冷却ファンの増設などを士会の費用で行っていただきました。これによって365日運用可能な仕様となっております。オペレーションシステムはセキュリティの高さ、管理のしやすさ、安定性などからLinux (Ubuntu10.04) を搭載しております。会員管理のソフトはmysqlとaccess2010という2つのデータベースソフトを使って作成しました。会員データの大事な部分はサーバーに保管し、入力や印刷、データ検索に必要なフロントエンド部は同一ネットワーク上のノートパソコンにおいて作業しています。このシステムによってデータの破損を最小限に抑えることができます。また、データは暗号化されておりパスワード認証が必要です。そして、サーバーのデータは1時間おきに外付けのハードディスクに自動的にバックアップするようになっています。

今回から会員名簿と会費納入簿を統合し、また過去のデータも蓄積していけるようなシステムとなっています。これまでは会費未納者などを調べるのに大変な労力を費やしていましたが、これからは数秒で調べることができます（まだ肝心のデ

ータ入力が終わっていませんので、入力完了以降の話ということです）。また、発送先住所録をエクセルファイルにボタン一つで書き出すことができます。このデータを発送作業の事業所に毎月送ることになりました。これにより会員異動があった場合にもできるだけ正確に発送先の変更ができるようになりました。皆さんもお気づきになったかもしれませんが10月の郵送物より宛名ラベルが事務局便りに記載したようになっています。これにより発送物数と会員数の確認が容易になりました。その他にも役員歴や月次報告書作成など様々な機能を有しており、今後必要な作業も適宜追加できるようになっています。データベースソフトは最初とっつきにくいソフトですが、なればエクセルよりもデータ数が多い場合にとっても便利に使えるソフトです。研究データなどを大量に扱う方はぜひ使ってみてください。

このように皆様の大切なデータを安全に正確に管理するために、なるべく最小の費用で最大の努力を行っております。しかし、データ流出や破損の可能性は0にはできません。何分、素人のボランティア作業ですので万が一の場合はご容赦ください。

今回を持ちましてITスタートアップ講座を一旦終了とさせていただきます。これまで愛読していただきありがとうございました。皆様の臨床や研究にコンピュータが少しでも役立てば幸いです。



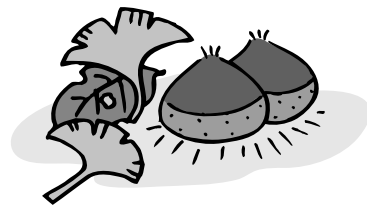
第3回研修会 「パーキンソン病の理学療法」に参加して

東近江敬愛病院 西 尾 峻

10月3日(日)にピアザ淡海にて石井光昭先生(佛教大学保健医療技術部准教授)による「パーキンソン病の理学療法」に参加しました。

内容としては、パーキンソン病とパーキンソンニズムの違いから始まり、パーキンソン病の歩行障害、摂食・嚥下障害といった内容を講義していただきました。パーキンソン病とパーキンソンニズムの違いでは、学生時代の復習的な中身から自分の知らない内容も沢山あり面白く、またパーキンソン病の歩行障害については実際に先生が経験された症例のビデオを見せていただきイメージがしやすく解りやすかったです。摂食・嚥下障害は時間の都合上、すべて

の講義を聞くことができなかったので機会があれば、詳しく聞いて学びたいと思いました。今回の研修会を今後の臨床で役立てるようにしたいです。



こ っ な 本

読みました！



甲西リハビリ病院 森 弘 基

【題 名】

4時間半熟睡法

著 者：遠藤 拓郎

出版社：フォレスト出版

みなさんは日々の忙しい仕事の疲れを、適切な睡眠により取ることができていますか？

疲れているから早く寝て、翌日逆に疲れやだるさが残っている事はありませんか。または、なかなか寝つけず睡眠不足となっている方もいると思います。それは、睡眠の仕方が間違っているかもしれません。睡眠の仕方を間違えてしまうと疲れ・だるさが残り仕事の効率が悪くなってしまいます。今回紹介する本『4時間半熟睡法』には、睡眠の仕組み・睡眠とホルモンの関係・眠気が起こる仕組み・上手く寝る為の食事の方法・寝付きにくい時の対処法など睡眠に関しての最新の知見や基礎知識が分かりやすく、簡単に掲載されています。夜勤やオール後の上手な睡眠の行い方も説明されていてすごくためになる一冊かと思います。日々の仕事を頑張るためには快適な睡眠をとり、健康な体を自分自身が維持出来るかだと思います。みなさんも快適な睡眠をとり明日からの仕事を頑張っていきましょう。



第26回滋賀県理学療法学会・一般演題募集

開催日時 平成23年 5 月22日 (日)
会 場 滋賀県立県民交流センター (ピアザ淡海)

演題募集要項

1. 筆頭演者は、社団法人滋賀県理学療法士会会員であること
2. 演題は、未発表のものに限ります
3. 発表方法
 - ・口述発表で発表時間は7分です。
 - ・発表用コンピューター及びプロジェクターは、学会のほうで準備します。Windowsノートパソコンを用いますので、Macなどをお使いの方はWindowsでも使用可能なよう工夫をお願いします。
 - ・発表時使用ソフトはWindows 版 Microsoft Powerpoint2003です。
 - ・スライドデータは事前にファイル保存し、CD-R等で送付して下さい (動作確認致します)。
締め切り期日については、平成23年 5 月10日 (火)になります。
4. 抄録の作成
 - ・抄録集の事前配布を予定しています。抄録の作成をお願い致します。
 - ・演題名、演者名、所属、キーワード (3つ)、本文の順で、Windows 版 Microsoft word に作成し、電子メールの添付ファイルにて送付して下さい。
 - ・様式は、縦A4用紙に横書きにて、一行の文字数は26文字以内、行数は50行以下とし、印字範囲が横8.5cm、縦25.0cmの長方形におさまるように配慮して下さい。
 - ・フォントの大きさ・種類は、演題名は12ポイント：MSゴシック他は、10.5ポイント＝MS明朝に設定して下さい。
 - ・本文には、目的、方法、結果、考察、まとめなどの小見出しをつけ、文字数は全角換算 (半角英文字は2文字で一文字換算) で、1000文字以内として下さい。
 - ・機種依存文字、外字は使用しないで下さい。
 - ・図表は、抄録に含めないで下さい。
 - ・抄録中に倫理規定に関する記述が無い場合には登録できませんので注意して下さい。
5. 社団法人 理学療法士会学術誌理学療法湖都への掲載
 - ・社団法人理学療法士会学術誌理学療法湖都掲載の投稿を推薦する場合があります。
6. 抄録の締め切り及び問合せ先
 - ・抄録締め切り：平成23年 1 月31日 (月)

※抄録送付は、下記のメールアドレスまで、必ず件名を添えてお願いします

〒520-8511滋賀大津市長等1丁目1-35

大津赤十字病院リハビリテーション科 内田 佑樹

TEL：077-522-4131代 FAX：077-525-8018

E-mail：shigaptgakkai26@yahoo.co.jp

職 場 紹 介

はたスポーツ整形クリニック

当クリニックは守山スポーツプラザガイムの1Fにあります。そして、その2Fがスポーツジム、3Fが子ども体操教室と環境の良い場所で、スポーツ疾患を主層とするクリニックです。

スタッフはPT3名、AT兼鍼灸師1名と助手数名で、毎日が大変忙しくも楽しく働かせて頂いております。

院長を始めスタッフ全員が何らかのスポーツをプレーヤーとして経験しているため、患者様により近い立場で治療でき、充実した毎日を過ごせていると感じています。経験の少ないものばかりですが、少しでも患者様に良い治療を提供できるようスタッフ全員で協力していきます。



水谷整形外科医院



当院はJR能登川駅から徒歩数分という利便性からか、安土や近江八幡からの患者様も多く、毎日多くの患者様に来院いただいております。

リハビリテーション部門は、常勤のPTが3名、リハビリスタッフが5名、非常勤のPTが数名の体制です。常勤PTは全員1年目で、まだまだ経験不足ですが、お互いに助け合いながら、少しでも患者様の助けとなれるように努力しています。

来年秋頃には隣接地にデイケア施設を開設する予定です。より地域に根差したサービスを提供し、より多くの患者様・利用者様に笑顔になって頂くため、今後ともスタッフ一同がんばっていきます。

社団法人 水口病院 介護老人保健施設 スキナヴィラ水口

当施設は甲賀市唯一のデイケアと介護老人保健施設です。リハビリのスタッフはPT3名、OT2名、アシスタント4名で日々楽しく働かせて頂いております。

当施設は来年度以降に全面改修工事の予定があり、新しいスキナヴィラ水口に生まれ変わります。ぜひ新しく綺麗になったスキナヴィラを見に来てください。

リハビリとは？という疑問を常に自分に問いながら、より一層、一人でも多くの方に満足して頂けるように努力していきたいと思っております。



【お詫びと訂正】

前回の職場紹介で『医療法人湖青会リハビリテーション部』のお名前が間違っており、ご迷惑をおかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。この場を借りて訂正させていただきます。

誤記	医療法人湖青会リハビリテーション部
訂正	医療法人湖青会リハビリテーション部



塚本 晃基

勤務先：村上整形外科クリニック
出身地：滋賀県東近江市
趣味：バスケットボール、映画鑑賞

ひとこと：就職してから毎日があわただしく過ぎていき、もう1年目も残り数カ月となってしまいました。夢であった理学療法士となり働いていることに喜びを感じていますが、社会人として、理学療法士としての未熟さも痛感しています。クリニックには痛みや辛さを抱えてこられる患者様が多くおられます。そんな患者様に笑顔で明るく接し、少しでも痛みや辛さを改善し、元気になって帰っていただけるよう心がけています。しかしなかなか結果を出せていないのが現状です。この初心を忘れることなく、いつまでも向上心をもって日々精進していききたいと思います。よろしくお願いします。



渡邊 光太

勤務先：近江八幡市立総合医療センター
出身地：東京都
趣味：サッカー、旅行、ショッピング

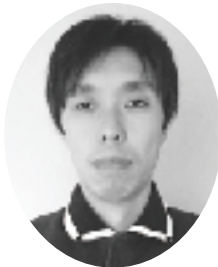
ひとこと：はじめまして、渡邊光太です。私はサッカーを通じて、理学療法士という仕事を知りました。毎日「なんだろう」「これでいいのだろうか」という疑問や不安を抱きながら患者さんと向き合っています。患者さんからは「帰りたい」「よくなりたい」と言われ、理学療法士という仕事の重責を感じます。そんな私にも、患者さんは色々な情報を発信してくれて、その情報が治療の手掛かりであることがたくさんあります。今後もその情報をしっかりと受信し、患者さんのADL向上に繋がっていききたいと思います。



藤山 文彦

勤務先：琵琶湖大橋病院
出身地：滋賀県
趣味：バスケットボール、

ひとこと：理学療法士として働き始め、あっという間に半年が経過しています。日々慌ただしい業務の中、慣れないことばかりで周囲の方にたくさんの迷惑をかけ、自分の力不足を痛感する毎日でしたが、患者様・先輩セラピストの優しい言葉やサポートで業務に取り組むことが出来ました。これからも、知識と技術の向上を目指し、「一人前の理学療法士」となれるよう日々努力していきます。



新水 治 潔

勤務先：特別養護老人ホーム 淡海荘
出身地：京都府
趣味：旅行

ひとこと：知識・技術不足を痛感している毎日です。利用者様は皆積極的に頑張っておられますので、私もそれに応えられるように勉強していかなければなりません。まだまだ課題は山積みです。ひとつひとつクリアしていき、利用者様が明るく楽しく過ごしていただけるようお手伝いしていきたいと思います。



西澤 一 馬

勤務先：彦根市立病院
出身地：滋賀県
趣味：お酒



ひとこと：今年から理学療法士として彦根市立病院で勤務しています。学生の頃とは違い、たくさんの患者さんを担当し、忙しい毎日です。臨床の場面ではまだまだ分からないことがたくさんあり、悩みも絶えませんが早く一人前の理学療法士として活躍できるように日々奮闘中です。県士会など勉強会にも参加していきたいと思いますので、見かけたらぜひ声をかけてみてください。



戸嶋 清 将

勤務先：神崎中央病院
出身地：滋賀県
趣味：バスケット、サーフィン、スノボ

ひとこと： はじめまして。今春に佛教大学を卒業しました戸嶋清将です。今年の4月から新社会人として働きだし、早くも数ヶ月の月日が過ぎました。働きだしてからの日々は慌しくありましたが、病院の雰囲気にも慣れて来つつあります。理学療法業務に関しては、わからないことも多く、日々職場の先輩方に指導を仰ぎ、四苦八苦しながら働いています。今後も、患者様のことを考え、初心を忘れず、働いていきたいと思います。よろしくお願いします。



大 西 健 介

勤務先：神崎中央病院
出身地：京都府
趣味：野球

ひとこと： 初めまして。今年の4月から神崎中央病院で働かせていただいております大西健介と申します。臨床に出て数ヶ月が経ちますが、慣れない事も多く、他のスタッフにもご迷惑を掛けながらも一つでも仕事を覚えていこうと業務に取り組んでいます。まだ知識・技術共にまだまだ未熟な点が多く悩むことも多いですが、何年経っても初心を忘れずに患者さんの事を考えて、悩んで成長していける理学療法士になっていきたいと思っています。どうかよろしくお願いします。



三 橋 正 典

勤務先：神崎中央病院
出身地：滋賀県
趣味：スポーツ、音楽

ひとこと： 「病は気から」という言葉の様に、患者様の意欲なしでは納得のいく治療効果は得られないと思います。そのため、知識・技術はもちろんですが、患者様の意欲を促せることができる様なコミュニケーション能力を身につけたいと思います。よろしくお願いします。



安 居 伸 悟

勤務先：ヴォーリズ記念病院
出身地：滋賀県
趣味：ソフトボール

ひとこと： はじめまして。ヴォーリズ記念病院の安居です。就職して半年が経ち、毎日の仕事の業務にもようやく慣れてきました。しかし、介護保険制度の正しい理解、患者様の治療・ゴールの設定に四苦八苦している毎日です。病院のスタッフの皆様や患者様から、様々なことを学ばせて頂いている毎日でもあります。これらの学んだことを、少しでも今後の治療に活かしていけるように日々努力と工夫を重ねていきたいと思っています。



田 淵 由 希 子

勤務先：ヴォーリズ記念病院
出身地：滋賀県
趣味：音楽(フェス)・買い物

ひとこと： 理学療法士として働き始めてから、1日1日過ぎるのがとても早く感じます。

知識・技術不足や責任の重さを痛感し、悩む反面、患者様の笑顔や優しい言葉を頂けるたびにやり甲斐や、楽しさを感じることもできています。

本当にこれで良いのか？と日々振り返り、常に向上心と笑顔を忘れず、頑張っていきたいです。



森 ほのか

勤務先：ヴォーリズ記念病院
出身地：滋賀県
趣味：ゲーム、ドライブ、音楽鑑賞

ひとこと： 初めまして。ヴォーリズ記念病院の森ほのかと申します。4月から働き始めてはや7ヶ月が経ちました。この生まれ育った滋賀県で働けることを嬉しく思っています。患者様やご家族の方、スタッフさん…多くの方と接していく中で社会人としての責任の重さを感じています。

まだまだ未熟者であり日々教わることばかりですが、これからも知識・技術の向上を目指して精一杯頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。



原 麻 美 子

勤務先：彦根中央病院
出身地：滋賀県彦根市
趣味：買い物

ひとこと：初めまして、原麻美子と申します。理学療法士になることは小学生のときからの夢で、また地元の彦根でPTとして働けることをうれしく感じております。理学療法士になり早半年が経過し、初めは緊張と戸惑いがありましたが少しずつ慣れてきました。知識・技術ともにまだまだ未熟ですが社会人として理学療法士として信頼される存在を目指し、努力していききたいと思います。常に笑顔を忘れず患者様と関わり、今自分のできる精一杯のことを提供していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



井 上 陽 花

勤務先：彦根中央病院
出身地：京都市
趣味：読書（ミステリー）

ひとこと：初めまして。理学療法士として働きだして数ヶ月が経ちますが未だに憧れのPTになれたことが夢のようで実感がありません。
日々患者様と接する中でまだまだ力不足で、こんな治療しか提供できなくて患者様に申し訳ないと思うことも多々あります。でも患者様の笑顔をみると本当にPTになれてよかったと思うとともにこの笑顔をまたみたいと仕事に対するやる気も倍増します。今後も患者様と同じ目線で物事を考えられるPT目指して頑張ります。これからよろしくをお願いします。

吸引研修会

日 時：平成23年2月13日（日）10：00～16：00

会 場：ピアザ淡海 大会議室

内 容（案）

開講式
気管吸引に必要な呼吸生理と解剖
呼吸不全と呼吸管理
気管吸引のガイドライン
昼休憩 ランチョンセミナー：閉鎖式吸引カテーテル
気道クリアランスと呼吸理学療法 コメディカルのための吸引手技の実際と注意点
まとめ 全体質疑
閉講式

* 内容については、若干変更することもあります。

申 込 み：下記あて先まで、e-mailにて氏名・所属・を明記の上お申込み下さい。

件名には必ず「吸引研修会申込み」とご明記ください。修了証書を発行します。

申込み先：ayanok@belle.shiga-med.ac.jp

滋賀医科大学附属病院 リハビリテーション部

事務局 川 波 宛

参 加 費：滋賀県士会員600円（弁当代）

締 切：平成23年1月末日

定員になり次第締切ります。

訪問リハビリテーション実務者研修会

日 時：平成23年2月26日（土）13：00～17：00

2月27日（日）9：00～16：00

会 場：滋賀県立成人病センター

講 師：未定

PT, OT, STの3士会合同の研修会です。

保健福祉部アンケートのお礼

保健福祉部部長 大 原 ともみ

保健福祉部活動にいつもご理解、ご協力いただきまして有難うございます。

本年度6月に行いました小児リハビリテーション実施施設状況のアンケートにご協力いただきまして有難うございました。104施設中90施設の回答がありました。

県内で小児リハビリテーションを実施しているのは19施設でした。今後小児リハビリテーション実施施設のご承諾をいただき、マップ作成やネットワーク作りなどを進めて行きたいと思っておりますのでご協力をお願い申し上げます。

平成22年度 第5回佐賀県理学療法士会理事会報告(要約)

日 時	平成22年 9 月 9 日 (木)	17時45分～20時00分
会 場	済生会佐賀県病院	
議 長	本白水会長	
出席者	平岩、松岡、酒井、柴田、弘部、久保、武田	

○審議事項

1. マスタープランについて

短期～中期事業計画を策定するための平成22年度マスタープランを提示した。

平成25年度末の会員数800名を想定して計画を策定。平成26年以降に全国学会の開催を検討。

2. 代議員選挙について

9月11日より協会代議員選挙の立候補受付が始まる。本白水会長、平岩理事が立候補の予定。

○報告および承認事項

1. 各部・各委員会の活動について

総務部：会員数597名（施設数102、自宅会員43名、県内異動2件、県外移動1件、新入会1件、自動退会3件連絡不能5件。）8月1日付にて異動受付業務を佐賀医大に移管。アクセスにて会員名簿データベースを作製。

財務部：近畿学会の分担金請求があったが、会員数未確定につき現在は未送金。総務部のPCの老朽化により更新の申し出を受けている。現在、見積もり等を行っている。士会銀行印を購入。

広報部：士会ニュースへ毎月巻末に事務局連絡先、ホームページ掲載依頼先窓口、士会ニュース掲載依頼窓口等を掲載の方向にて検討。

厚生部：公募事業は、現在ゴルフコンペ、フットサルの2件の応募を受けている。フットサルは、佐賀医大体育館を会場に使用する予定、また、他職種の参加を認める為、共催扱いとする。今後は、公募事業として、写真等の文化事業の導入も検討する。

研修部：第2回研修会が、8月22日（日）にピアザ淡海にて開催された。テーマ「最新の筋・腱の知見」、講師は石川昌紀先生（大阪体育大学）、80名（会員66名、会員外6名、学生8名）の参加をえた。第3回研修会を、10月3日（日）にピアザ淡海にて開催予定。テーマ「パーキンソン病の理学療法」、講師は石井光昭先生（佛教大学）。なお、会員数の増加に伴い、講演テーマによって

は、会場規模を広げる必要が生じている。

学術誌部：学術誌発行にむけて原稿を集約中。

保健福祉部：「療育マップ」アンケート（92件返答）の結果とお礼の言葉を士会ニュース10月号掲載とホームページアップにて行う予定。

公益事業部：10月17日（日）に開催される健康フェスティバルに参加の予定。9月21日の実行委員会には会長が出席予定。

学術集会：第25回佐賀県学術集会を7月12日（日）に長浜バイオ大学にて開催した。テーマ「教育から共育へ」、士会員発表14演題、特別講演講師は中川法一先生（神戸国際大学）、128名（会員124名、会員外1名、学生3名）の参加を得た。平成26年度の学術集会は天津にて開催。会場はピアザ淡海の予定。

2. 三士会会議報告

OT士会会員数は約300名、組織率が80%から60%へ低下している。ST士会会員数は約80名、国家試験の合格率は50%。訪問リハ従事者研修会を三士会合同で開催予定。早期に三士会代表者が会議を持つこととする。

3. 近畿学会

10月3日に第2回準備委員会を開催予定。

4. 吸引研修会について

9月6日に呼吸リハ実務を実施している会員が集い、会合を持った。吸引の基本についての勉強会を平成23年1月から2月にかけて開催を検討。

5. 理事会申し合わせ事項

審議事項に関して、担当部署にて十分に検討を尽くしていただくこととする。会長不在時は、平岩筆頭理事が理事会進行を行う。理事の緊急連絡については、携帯を使用する。

6. その他

連携学会へ賛助会費1万円を供出。

NINATO等4業者が県士会賛助会員脱退の申し出あり。（社）日本理学療法士協会に一本化して欲しいとの要望。

平成22年度 第6回佐賀県理学療法士会理事会報告(要約)

日 時	平成22年10月14日(木)	17時40分～20時15分
会 場	済生会佐賀県病院	
議 長	本白水会長	
出席者	平岩、松岡、宇於崎、酒井、柴田、弘部、久保、武田	

○審議事項

- 12月開催の拡大理事会に向けてマスタープランの内容を確認。
2. 公益事業について
公益法人取得にむけて約款の見直しが必要となる。鹿児島プラン等、他士会の資料を参考にしながら検討を進めていく。
3. 代議員選挙について
本白水会長、平岩理事、宇於崎理事が当選。
4. その他

○報告および承認事項

1. 各部・各委員会の活動について

総務部：会員数603名（勤務会員554名、自宅会員46名、連絡先不明会員3名、県内異動3件、県外転出2件、県内転入2件、届出事項変更2件、新入会3件、休会1件、自動退会2件。）会員データベース活用にて会員郵便物発送先が毎月更新可能となった。

今月より、公印は滋賀医科大学で管理する事になった。

財務部：近畿学会分担金を士会員600名分にて学会事務局へ送金（600名×500円＝30万）。第51回近畿理学療法学会の準備金として士会資産より準備委員会へ150万円を供出（内琵琶湖ホール会場賃借料前納金103万円を含む）。法人申請に関する費用が相当かかる可能性がある。事務局開設基金の一部を法人申請費用に充当する。

IT部：梅居部長の都合により、12月よりIT部部長を奥邨純也氏（公立甲賀病院）へ引継ぎ予定。

広報部：士会ニュース12月号より毎号巻末に事務局連絡先、ホームページ掲載依頼先窓口、士会ニュース掲載依頼窓口等の受付情報を掲載。

厚生部：平成22年9月26日(日)にゴルフコンペを士会員11名にて開催。11月14日(日)に滋賀医大にて開催されるフットサル大会に協賛。

研修部：第3回研修会が、10月3日(日)にピアザ淡海にて開催された。テーマ「パーキンソン病の

理学療法」、講師は石井光昭先生（佛教大学）、94名（会員84名、会員外5名、学生5名）の参加をえた。第4回研修会を、12月19日(日)に滋賀医療技術専門学校にて開催予定。テーマ「膝関節疾患に対するももリゼーション・スタビライゼーション」、講師は宇於崎孝先生（滋賀医療技術専門学校）。研修部PC用の鞆を購入。

生涯学習部：12月5日(日)に新人研修会を開催予定。11月27日・12月4～5日に理学療法士協会主催にて理学療法講習会が滋賀県内にて開催される予定。それぞれ、テーマは「内部障害に対する理学療法の進め方の基本」（会場・コラボしが21）、「腰痛患者に対する教育的アプローチ」（会場・滋賀医療技術専門学校）。士会としても開催に協力するが、現在の組織システムでは業務負担が大きく、今後の継続性を保つためには、担当部局の開設等を検討する。

学術誌部：学術誌「湖都」発行にむけて準備中。

教育部：助成研究に対する応募は現在0件。

公益事業部：10月17日(日)に開催される「2010 おおつ健康フェスティバル」へ士会員10名にて参加の予定。

職能部：新法人取得に向けてタイムスケジュールを設定。平成24年4月より公益法人スタートの予定。
学術集会：第26回滋賀県学術集会を平成23年5月22日(日)にピアザ淡海にて開催の予定。学会テーマ「プロフェッショナルセラピストを目指して」、特別講演講師は菅野幸一郎先生（東レアローズ女子バレー部監督）テーマ「トップアスリートとの関わり方(仮題)」、なお、今回は開催スケジュール上の都合にて新人症例発表のセクションを設定しない方向。

需給調査委員会：アンケートを今年度中に実施の予定。

報酬改定委員会：平成22年7月11日・10月3日に委員会を開催。理事会へ業務環境改善4点について答申を受けた（1. 急性期の充実した理学療法に対する評価、2. 退院等における移行期の理学療法

士の役割の評価、3. 維持期理学療法成功報酬の評価、4. 訪問リハビリテーションの認可)。理事会としては、協会へ上申する方向にて検討する。その他：第41回滋賀県公衆衛生学会第1回実行委員会が9月30日に開催。学会は、平成23年2月10(木)にピアザ淡海にて開催となる。

2. 士会長会議報告

改正法人について、平成23年度新公益法人に移行時、現役員では定数が合わないのので、役員の増加を検討。訪問リハビリテーション研修会(会場・東京損保会館)に滋賀県より深津富美先生(公立甲賀病院)が県内OT2名・ST1名と参加。全国訪問リハビリテーション振興会と各都道府県における調整窓口が決定された。滋賀県は、石黒望先生(近江温泉病院)がリーダーに就任。訪問リハビリテーション研修会を成人病センターにて平成23年1月に開催予定となった。協会ホームページより入会・会員移動等の管理が可能となる。現在、契約している会員カード会社(ニコス)より、年会費負担の要請を受けている(約5000万円)。カード会社変更を含めて検討する。

3. 予算・事業計画・拡大理事会について

12月9日(木)に拡大理事会を開催予定。会場については、今後検討を行う。

4. 吸引研修会について

平成23年2月13日(日)にピアザ淡海にて研修会開催予定。

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

事務局

ptshiga@ares.eonet.ne.jp 担当：大津市民病院 槻本

入会、異動、財務関係 メーリングリスト登録

hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp 担当：滋賀医大 平岩

届け出書類等郵送先

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 平岩康之まで

TEL/FAX 077-548-2670

メーリングリスト登録ご希望の場合はメーリングリスト登録希望と表題に書いていただき、本文には氏名、所属施設、会員番号(新入会の方は必要ありません)を記入して平岩までメールしてください

士会員メーリングリストアドレス shigapt-ml@freeml.com

発送物関係

reha@otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田
折込発送物等あれば、毎月25日までに申し出ください

ホームページ原稿受付

担当：shigapt-it@mopera.net 担当：公立甲賀病院 奥邨

士会ニュース原稿受付

shigaptnews@infoseek.jp 担当：公立甲賀病院 龍本

研修関係

ptshigakennsyuukai@yahoo.co.jp 担当：ヴォーリズ記念病院 清岡

生涯学習関係

h-kawasaki@pt-si.aino.ac.jp 担当：滋賀医療技術専門学校 川崎
TEL 0749-46-2322

厚生事業関係

ptshiga_kouseibu@yahoo.co.jp 担当：蒲生町病院 奥田

事務局 だより

12月分

○会員数 605名 (平成22年10月23日現在)
○賛助会員 6社

会員異動

休 会 森田由起子 自宅

会員異動

休 会 内藤 裕子 大津赤十字病院

県内異動 前川 直行 今津病院

福嶋 秀記 自宅

南部 利明 市立長浜病院

岡本 陽介 ケアポート栗東

転 出 久保田岳志

久保田裕美

転 入 梅木 速水 南草津病院

村部 義哉 介護老人保健施設

シニアセンターティファニー

入 会 原 麻美子 彦根中央病院

真田 克則 野洲病院

復 会 伊藤 清美 社会福祉法人八起会

介護老人保健施設 石部ケアセンター

異動届、入会届送付先

〒520-2192

大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部

平岩康之 宛

問い合わせ hiraiwa@belle.shiga-med.ac.jp

尚、発送物関係は今までどおり総務部（大津日赤）
で承ります。

折込発送物等あれば、毎月25日までにお申し出
ください。

10月発送物からの宛名ラベルが下記のように
なっておりますのでご確認ください。

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇市〇〇町 〇〇-〇〇

〇〇病院 リハビリテーション科

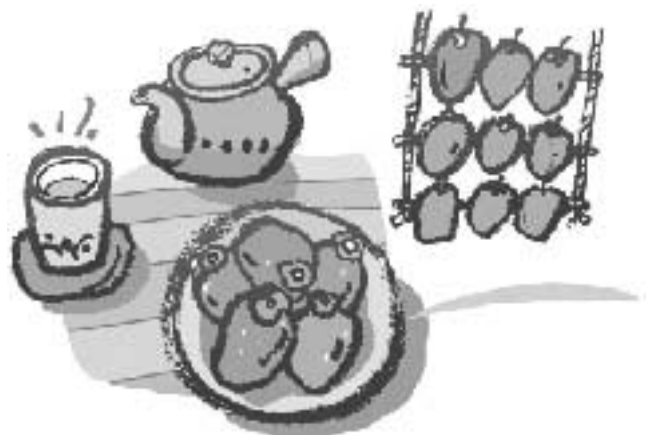
理学療法士代表者様

6 ← この数字は会員数
を表しています

お詫び：前回、葛迫 剛先生が自宅会員となってお
りましたが甲賀市水口医療センターの誤りでした。
謹んでお詫び申し上げます。

尚、会員登録の誤りや不明な点がございましたら
ご遠慮なくお申し出ください。

入会、転入転出の届出先は滋賀医大に8月より滋
賀医大に変更になっていますのでご注意ください。



編集後記

あれほど暑かった夏が嘘のように、寒い冬がやってきました。

今年もあと少し、今年の総決算をしていけたら良いですね。

体調に気をつけて、良いお年をお迎えください。

K. N



広報部メールアドレス

shigaptnews@infoseek.jp

SHIGA SCHOOL
of Medical Technology

滋賀医療技術専門学校

～新しいリハビリテーション医学を学ぼう～

最速・最短・最小学費で国家資格を取得！

- ①理学療法学科・作業療法学科ともに最短資格取得の3年制！
- ②学費は3年間でわずか300万円！
- ③関連校である藍野大学への編入制度を計画中！

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967番地

学校法人 藍野学院

滋賀医療技術専門学校

TEL : 0749 (46) 2311

FAX : 0749 (46) 2313

E-mail : shiga@ainoac.jp

http://www.aino.ac.jp